

# 令和4年度の主要な取組

## 【まちづくりの柱3】人が集い、活力のあるまち



### ▶移住・交流居住推進事業

【1,434万円】

移住に関する情報の発信やオーダーメイド型体験ツアーの実施などの移住支援、空き家バンク制度による住宅情報の提供などを推進し、県外からの移住者の増加や二拠点居住の奨励による交流人口の増加を図ります。

### ▶みなとまちゾーンでの活性化事業

【520万円】

多様な事業主体の参画・協働により、多くの市民と来訪者が集い、行き交う憩いの場を創出します。

### ▶観光まちづくり推進事業

【7,927万円】

首都圏等での観光PRのほか、SNSの活用や下田ロケーションサービスによるロケ誘致等により、本市の魅力発信と認知度の向上に努め、来遊客の増加を図ります。

### ▶鳥獣被害対策業務

【2,072万円】

女性や高齢者でも取り組める獣害対策講習会の実施に加え、ICT機器付き罠の設置数を増加し、地域が一体となって防除と駆除の両面での鳥獣害対策を進めます。

### ▶水産振興事業

【860万円】

機能性表示食品制度を活用したキンメダイの高付加価値化や、伊豆漁協が実施する下田市魚市場海水処理施設改修工事に対する助成を行い、水産物の品質や安全性の確保を図ります。

## 【まちづくりの柱1】美しく生活しやすいまち

### ▶広域ごみ処理施設整備事業

【5,660万円】

施設整備に向けた事前調査に着手するとともに、循環型社会の実現のため、1市3町が連携し、住民と一体となった4Rの推進に向け、生活環境影響調査、施設整備基本計画策定業務、地質調査の委託を進めます。

### ▶公共交通推進事業

【2,312万円】

市民や来遊客が利用しやすい公共交通体系を維持・構築するとともに、持続可能な公共交通の実現を目指すため第2次公共交通計画の策定を進めます。

### ▶橋梁維持事業

【1億3,643万円】

老朽化した橋梁の維持管理に対応するため、予防保全的な管理を行うことにより橋梁の修繕並びに架け替え等に要するコストの縮減を進めます。

### ▶景観推進事業

【632万円】

景観パンフレットの作成や下田登録まち遺産の維持・修繕に対して助成します。

### ▶都市計画総務業務

【1,216万円】

行政・医療・福祉・商業などの都市機能や居住機能の適正な誘導と、道路網や公共交通の連携を図るための、立地適正化計画の策定を進めます。



## 【まちづくりの柱4】安全・安心なまち

### ▶田牛漁港海岸保全施設整備事業

【2,073万円】

田牛地区の津波被害の軽減等の整備目的に向けて堤防高上げ整備に向けた基本設計を進めます。

### ▶在宅児童援護事業

【7,287万円】

子育て世帯の経済的負担を軽減するために、子ども医療費助成、育児用品購入費助成、中学校就学準備給付金の支給を継続します。

### ▶母子保健相談指導事業

【1,742万円】

不妊治療費助成対象者の拡充及び不育症治療への支援とともに、多胎妊婦健康診査を新たに開始し、産前・産後ケアや母子健康管理を強化し、妊娠・出産・育児への切れ目のない支援を実施します。

### ▶防災組織育成事業

【596万円】

家庭でできる防災対策に対する各種補助金の支給や、自主防災会が中心となって行う資機材整備、防災訓練などを支援することで、地域防災力の向上を図ります。

### ▶放課後児童対策事業

【3,689万円】

白浜小学校での放課後児童クラブ開設により市内小学校区全てに放課後児童クラブが開設されその運営を助成します。



## 【まちづくりの柱2】郷土への誇りと愛着を育むまち

### ▶小学校教育振興事業

【3,434万円】

多様化する学校現場への対応、児童・生徒の学習や安全を確保するため、特別支援教育支援員を拡充するほか、アプリ・メールによる学校と家庭との連絡手段の拡充、また、タブレット端末を活用した授業を行うなど、GIGAスクール構想を推進します。



### ▶生徒援護事業

【2,663万円】

市内4中学校が統合し新たな下田中学校開校に伴う通学補助制度の拡充を行います。

### ▶社会体育活動推進事業

【1,451万円】

スポーツ分野での地域おこし協力隊の活動等によるスポーツ振興に取り組みます。

### ▶市民文化会館改修工事

【3億800万円】

開館から30年以上が経過し、機器や設備の老朽化により安全面や適正な運営に支障を来す恐れが生じているため、大ホール吊り天井、音響設備、吸気式冷水機などの改修を行います。